

# 循環器内科



部長  
診療科長  
赤尾 昌治

専門医資格等 日本循環器学会認定循環器専門医、代議員(社員)、  
近畿支部評議員  
日本内科学会認定内科医、指導医、近畿支部評議員  
日本不整脈心電学会評議員  
日本心血管脳卒中学会評議員  
京都大学臨床教授、非常勤講師

専門分野 心房細動、不整脈、臨床疫学

## □ スタッフ

平成 28年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医長 カテ室チーフ 医療安全管理副部長	阿部 充	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本心血管インターベンション治療学会専門医、 指導医、代議員	心臓カテーテル検査・ 治療、造影剤腎症、医学統計	
医 長 CCUチーフ	益永 信豊	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医 日本心血管インターベンション治療学会認定医	冠動脈カテーテル治療、 末梢動脈カテーテル治療、 大動脈ステントグラフト治療	
医 師 不整脈チーフ	小川 尚	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医	不整脈、電気生理、カテーテルアブレーション治療、 デバイス治療	
医 師	井口 守文	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医	心不全、循環器領域の画像診断	
医 師	石井 充	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医 日本心血管インターベンション治療学会認定医	狭心症・心筋梗塞・閉塞性動脈硬化症などの インターベンション、 循環器全般	
医 師	安 珍 守	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医 日本不整脈心電学会 認定不整脈専門医 日本心血管インターベンション治療学会認定医	不整脈、カテーテルアブレーション治療、 デバイス治療	
医 師	手塚 祐司	日本内科学会認定内科医	循環器一般	
専 修 医	土井 康佑		循環器一般	
展開医療 研究部部長	長谷川浩二	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医専門医 アメリカ心臓協会専門医 (FAHA) アメリカ心臓病学会専門医 (FACC) 日本禁煙科学会認定 禁煙支援医	心不全、虚血性心疾患、 心血管危険因子管理・特に禁煙指導、 心血管展開医療研究	
展開医療 研究部室長	和田 啓道	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医	循環器学、リスクファクター管理、 予防医学	
医 長	中島 康代	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医 総合内科専門医・指導医	循環器一般、心臓リハビリテーション	

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本循環器学会認定循環器研修施設 日本心血管インターベンション治療学会認定教育施設 日本不整脈学会認定不整脈専門医研修施設
-------	---

診療科モットー:「地域、世界、そして将来に貢献する循環器内科」

1. 「地域」: 命を守る責任感をもって、信頼される地域医療を提供すること
2. 「世界」: より良い医療を探求する情熱を持ち、世界に向けて情報発信すること
3. 「将来」: 指導者として人を教え育て、学習者として人から学び成長すること

「地域」は診療、「世界」は研究、「将来」は教育をあらわしています。診療・研究・教育の3本柱は、それぞれが互いを刺激して高めあう関係にあります。この3本柱がバランス良くしかも高いレベルで達成されていること、これが我々の診療科の目指す姿であり、また課せられた使命であると考えています。

## □ 主な対象疾患

虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)	心膜疾患、心タンポナーデ
不整脈	高血圧
心不全、心原性ショック	大動脈瘤、大動脈解離
心筋症、心筋炎	閉塞性動脈硬化症
心臓弁膜症	静脈血栓症
感染性心内膜炎	肺塞栓症

## □ 診療(業務)内容

心臓、血管系の疾病全般を扱っています。専門性に偏ることなく、バランスの取れた診療を行っていくよう、常に心がけています。

2014年9月8日に、心臓カテーテル検査室が移転、新装オープンし、「心血管治療センター」として稼働を開始しました。「心血管治療センター」では、冠動脈疾患や末梢動脈疾患に対するカテーテル検査・治療、不整脈疾患に対する電気生理検査・アブレーション治療を行っています。最新鋭のレントゲン透視装置で鮮明な画像が得られるため、より正確な診断と、より確実な治療が行えます。放射線の被ばく量も減少させることができます。より安全で確実に、清潔で快適な環境で、患者さんに検査や治療を受けて頂けるよう、そしてさらにレベルの高い医療を提供して地域に貢献してまいりたい所存です。

当院は、三次救急病院として地域医療の最後の砦であるという自覚と責任感を持って、絶対に断らない医療を目標としています。医療関係者専用の当科医師への直通電話(循環器ホットライン:070-6506-7304)を設けています。24時間365日、緊急症例、診療のご相談、なんでも気軽にお電話下さい。重症度や緊急度によりましては、当科ドクターカーを派遣することも可能です。

高齢化の進むわが国において、心疾患の終末像ともいえる心不全患者が増加の一途を辿っています。心不全の治療には、薬物療法だけでなく、食事療法、心臓リハビリなどの運動療法、訪問介護・看護などを含めた生活の支援も重要になります。当科では、心臓リハビリスタッフ、看護師、栄養士、薬剤師、ソーシャルワーカー、医師を中心に、心不全チーム医療を充実させ、多職種介入による包括的管理に力を入れています。

また、当科ではつねに多くの臨床研究や、新しい薬剤や医療機器の治験をおこなっており、より有効性・安全性の高い医療を求めて積極的に研究活動を行っています。とくに、当科が中心となって2011年より開始した「伏見心房細動患者登録研究(伏見AFレジストリ)」は、日本の実臨床の現場における心房細動患者の実態を反映するデータとして全国の注目を集めており、その成果を国内や国外の一流学会や論文に発表しております。

## □ 診療実績(平成28年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
29.4名	1,178名	9.1日

外来患者数

1日平均患者数
66.2名

主な手術・検査の件数など

冠動脈カテーテル治療	冠動脈カテーテル検査	下肢動脈カテーテル治療	カテーテルアブレーション
317件	626件	35件	76件

ペースメーカー植込
35件

□ 地域医療連携・広報活動

第9回伏見心血管病勉強会「心房細動」 平成28年10月13日

第3回伏見AFネットワークミーティング 平成28年6月18日

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

学 会 名	演 題	演 者
ブラザキサ発売5周年記念全国講演会ー日本の抗凝固療法は進化したか?ー 東京 2016.4.02	これからのBrain Protectionを考える～循環器の立場から	赤尾昌治
第41回日本脳卒中学会総会 札幌 2016.4.14～2016.4.16	伏見心房細動患者登録研究における心原性脳塞栓症発症例のリスク解析	福田俊一、安田謙、米本直裕、塚原徹也、中村道三、青木友和、大谷良、村瀬永子、川端康弘、赤尾昌治
第3回北河内エリア心臓病連携セミナー 枚方 2016.4.23	地域発の登録研究の必要性和意義を考える～伏見AFレジストリから	赤尾昌治
第6回Kyoto Congestive Heart Failure研究会 京都 2016.5.7	地域発の登録研究は何をもたらしたか～伏見AFレジストリから	赤尾昌治
ハートをまもる心房細動カンファレンス 岐阜 2016.5.11	NOACで心房細動の抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリから	赤尾昌治
Expert Meeting Kyoto 2016 京都 2016.5.19	実臨床データの重要性	赤尾昌治
第5回 OJD Meeting 大阪 2016.5.21	NOACで心房細動の抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリから	赤尾昌治
抗凝固フォーラム in 足立 東京 2016.5.26	超高齢化社会の抗凝固療法はどうあるべきか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
Japan Registry Day ～日本の血栓症登録研究について考える 東京 2016.6.4	地域発の登録研究は何をもたらしたか～Fushimi AF Registryより	赤尾昌治
抗凝固療法 Up To Date 東京 2016.6.10	超高齢化社会の抗凝固療法はどうあるべきか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
抗血栓療法トータルマネジメントフォーラム 札幌 2016.6.11	超高齢化社会の抗凝固療法はどうあるべきか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
日本心血管脳卒中学会学術集会ランチョンセミナー3 東京 2016.6.17	心房細動レートコントロールにおけるβ遮断薬の位置付け～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
第8回心血管を考える会 倉敷 2016.6.23	NOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
第18回不整脈アカデミー 大阪 2016.6.23	NOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか	赤尾昌治
第9回京阪神インターベンションカンファレンス 神戸 2016.6.24	大動脈解離の除外が必要な、ショックを呈したSTEMIの一症例	阿部 充
第100回日本神経学会中国・四国地方会ランチョンセミナー1 出雲 2016.6.25	CHADS2スコアを疑え!～伏見AFレジストリから見た日本人の脳卒中リスク因子	赤尾昌治
Meet The Specialist 大津 2016.7.6	地域発の観察疫学研究の必要性和意義を考える～伏見AFレジストリから	赤尾昌治
第25回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 東京 2016.7.7～2016.7.9	造影剤腎症の実態とその対策:PCI後の持続性および一過性造影剤腎症発症が長期生命予後に与える影響	阿部 充
第63回日本不整脈心電学会学術集会 札幌 2016.7.14～2016.7.17	Comparison of heart failure events in patients with atrial fibrillation receiving rhythm- versus rate-control therapy: The Fushimi AF Registry.	Yoshimori An, Hisashi Ogawa, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Masaharu Akao.
第63回日本不整脈心電学会学術集会 札幌 2016.7.14～2016.7.17	Clinical characteristics and outcomes of 'silent' (asymptomatic paroxysmal) atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry.	Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hisashi Ogawa, Yoshimori An, Masaharu Akao.
第11回Keiji PCI Conference for Next Generation 京都 2016.7.22	造影剤腎症 恐るるに足らず ～腎機能障害は心臓カテーテル検査の妨げか～	阿部 充
心房細動Webセミナー「高齢者AFのトータルケア」 東京 2016.7.26	低体重AF患者の脳卒中リスク～伏見AFレジストリからの知見	赤尾昌治
ひたちなか抗血栓治療講習会 ひたちなか 2016.7.29	超高齢化社会の抗凝固療法はどうあるべきか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
釧路地区の不整脈治療を考える～心房細動に出会ったら 釧路 2016.8.19	DOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
京都循環器医学会学術講演会 京都 2016.8.20	京都府における急性心筋梗塞診療体制向上プログラムについて	阿部 充
南河内心房細動セミナー 富田林 2016.8.24	DOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
Medscape ウェブ講演 Rome, Italy 2016.8.29	アドヒアランス向上への取り組み -Fushimi AF registryより-	赤尾昌治

European Society of Cardiology Congress 2016 Rome, Italy 2016.8.27~2016.9.1	Temporal change of anticoagulation therapy and its outcomes of Japanese atrial fibrillation patients in the real-world clinical practice: The Fushimi AF Registry.	Masaharu Akao, Yugo Yamashita, Ryuji Uozumi, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Satoshi Morita, Mitsuru Abe.
European Society of Cardiology Congress 2016 Rome, Italy 2016.8.27~2016.9.1	Clinical characteristics and prognosis of silent versus manifest paroxysmal atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry.	Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Yoshimori An, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
European Society of Cardiology Congress 2016 Rome, Italy 2016.8.27~2016.9.1	The incidence of stroke after hospitalization for heart failure in patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry.	Moritake Iguchi, Yuji Tezuka, Nobutoyo Masunaga, Mitsuru Ishii, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
European Society of Cardiology Congress 2016 Rome, Italy 2016.8.27~2016.9.1	The impact of heart failure on the incidence of stroke in patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry.	Moritake Iguchi, Yuji Tezuka, Nobutoyo Masunaga, Mitsuru Ishii, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
European Society of Cardiology Congress 2016 Rome, Italy 2016.8.27~2016.9.1	Relationship between systolic blood pressure and risk of stroke or systemic embolism in patients with atrial fibrillation: from the Fushimi AF Registry	Mitsuru Ishii, Yoshimori An, Moritake Iguchi, Nobutoyo Masunaga, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
European Society of Cardiology Congress 2016 Rome, Italy 2016.8.27~2016.9.1	The combination therapy with oral anticoagulant and antiplatelet drug for atrial fibrillation patients: The Fushimi AF Registry.	Nobutoyo Masunaga, Moritake Iguchi, Mitsuru Ishii, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji, Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
European Society of Cardiology Congress 2016 Rome, Italy 2016.8.27~2016.9.1	The clinical outcomes in atrial fibrillation patients with vascular disease: The Fushimi AF Registry.	Nobutoyo Masunaga, Moritake Iguchi, Mitsuru Ishii, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji, Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
European Society of Cardiology Congress 2016 Rome, Italy 2016.8.27~2016.9.1	Ethnic disparities between Japanese and British atrial fibrillation patients with previous stroke: Comparative analysis from the Fushimi and Darlington Atrial Fibrillation Registries	Hisashi Ogawa, Keitaro Senoo, Yoshimori An, Alena Shantsila, Eduard Shantsila, Deirdre A Lane, Andreas Wolff, Masaharu Akao, and Gregory Y H Lip.
European Society of Cardiology Congress 2016 Rome, Italy 2016.8.27~2016.9.1	Characteristics and outcomes in elderly Japanese and British patients with atrial fibrillation: Comparative analysis from the Fushimi and Darlington Atrial Fibrillation Registries	Hisashi Ogawa, Keitaro Senoo, Yoshimori An, Alena Shantsila, Deirdre A Lane, Andreas Wolff, Eduard Shantsila, Masaharu Akao, and Gregory Y H Lip.
European Society of Cardiology Congress 2016 Rome, Italy 2016.8.27~2016.9.1	Risk of stroke or systemic embolism in cardiomyopathy patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry.	Yuji Tezuka, Daisuke Takagi, Moritake Iguchi, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao .
European Society of Cardiology Congress 2016 Rome, Italy 2016.8.27~2016.9.1	The impact of systolic blood pressure on hospitalization for heart failure in atrial fibrillation patients: The Fushimi AF registry.	Yuji Tezuka, Daisuke Takagi, Moritake Iguchi, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
European Society of Cardiology Congress 2016 Rome, Italy 2016.8.27~2016.9.1	Clinical characteristics and outcomes of atrial fibrillation patients taking direct oral anticoagulants in the real-world: The Fushimi AF Registry	Yugo Yamashita, Ryuji Uozumi, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Satoshi Morita, Masaharu Akao.
高齢者AFトータルケア講演会 川越 2016.9.6	DOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
エリキュース Expert Seminar 東京 2016.9.11	地域発のレジストリ研究の必要性和意義を考える～伏見AFレジストリから	赤尾昌治
北陸地区Network Meeting 金沢 2016.9.15	地域発の登録研究の必要性和意義を考える～伏見AFレジストリから	赤尾昌治
最新医療懇話会 酒田市 2016.9.21	DOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
第1回南京都不整脈アカデミー 京都 2016.9.29	唯一の国産DOAC、エドキサパンを心房細動治療に活かす	赤尾昌治
第39回日本高血圧学会総会ランチョンセミナー15 仙台 2016.10.1	心房細動レートコントロールにおけるβ遮断薬の位置付け～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
臨床医のための血栓症セミナー 安城市 2016.10.4	DOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
第20回日本心不全学会学術集会 札幌 2016.10.07~2016.10.09	Predictors and prognosis of new-onset heart failure in patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry.	Moritake Iguchi, Yuji Tedsuka, Hisashi Ogawa, Nobutoyo Masunaga, Mitsuru Ishii, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
エリキュース Master Class 東京 2016.10.16	地域発のレジストリ研究に見る、リアルワールドの多様性	赤尾昌治
宇和島地区Network Meeting 宇和島市 2016.10.21	DOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
心原性脳塞栓症一次・二次予防を考える心房細動Meeting 名古屋 2016.10.22	DOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
ケアネットweb講演 京都 2016.10.24	抗凝固療法中患者の血圧管理の重要性	赤尾昌治
リクシアナ座談会 京都 2016.10.30	高齢者AF治療の実践	赤尾昌治
第6回東三河不整脈研究会 豊橋市 2016.11.1	DOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
DOAC Forum in SASEBO 佐世保 2016.11.2	DOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
名古屋東部地区心房細動Network Meeting 名古屋 2016.11.5	DOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
American Heart Association Scientific Session 2016 New Orleans, LouisianaUSA 2016.11.12~2016.11.16	Relationship of hypertension and systolic blood pressure with the risk of bleeding in patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry.	Mitsuru Ishii, Yoshimori An, Moritake Iguchi, Nobutoyo Masunaga, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
American Heart Association Scientific Session 2016 New Orleans, LouisianaUSA 2016.11.12~2016.11.16	Progression from paroxysmal to sustained atrial fibrillation as an increased risk of hospitalization for heart failure: The Fushimi AF Registry.	Hisashi Ogawa, Yoshimori An, Mitsuru Ishii, Moritake Iguchi, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
American Heart Association Scientific Session 2016 New Orleans, LouisianaUSA 2016.11.12~2016.11.16	Efficacy and safety of direct oral anticoagulants in patients with atrial fibrillation in the real-world: The Fushimi AF Registry.	Yugo Yamashita, Ryuji Uozumi, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Satoshi Morita, Masaharu Akao.

SPAF座談会 New Orleans, LouisianaUSA 2016.11.12~2016.11.16		赤尾昌治
PAC16 京都 2016.11.18~2016.11.19	SESのVLSTIに対する治療に難渋した一例	阿部充
DS Oral Anticoagulant Forum 神戸 2016.11.24	DOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
天神循環器セミナー2016 大阪 2016.11.26	造影剤腎症を究める!	阿部 充
天神循環器セミナー2016 大阪 2016.11.26	唯一の国産DOAC、エドキサパンを心房細動治療に活かす	赤尾昌治
敦賀市医師会学術講演会 敦賀 2016.11.30	DOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
高島市血栓療法セミナー 高島市 2016.12.8	地域発の登録研究の必要性和意義を考える～伏見AFレジストリから	赤尾昌治
第3回KBC 大阪 2016.12.17	左浅大腿動脈のステント内急性閉塞を繰り返した一例	阿部 充
ELDERCARE-AF全国キックオフ会議 東京 2016.12.17	伏見AFレジストリから、試験にエントリーすべき患者像を考える	赤尾昌治
氷見市医師会学術講演会 氷見市 2016.12.21	DOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
Thrombosis Meeting 千葉市 2017.1.13	DOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
DS Oral Anticoagulant Forum 大阪 2017.1.14	DOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
第2回宮崎脳卒中予防セミナー 宮崎市 2017.1.26	DOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
京都脳卒中 Expert Meeting 京都 2017.1.27	伏見AFレジストリは何をもたらしたか～地域発の登録研究の意義を考える	赤尾昌治
Heart Disease Seminar 大阪 2017.2.4	地域発の登録研究の必要性和意義を考える～伏見AFレジストリから	赤尾昌治
第12回日本PCIフェローコース 博多 2017.2.4	冠動脈疾患と腎障害(循環器内科医から)～腎機能障害は心臓カテーテル検査の妨げか?～	阿部 充
心房細動治療セミナー 松山市 2017.2.9	DOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
静岡AFカンファレンス 静岡市 2017.2.10	抗凝固療法の質の向上には何が必要か～伏見AFレジストリから考える	赤尾昌治
東近江抗血栓療法セミナー 東近江市 2017.2.16	DOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
日赤長崎原爆病院 循環器病診療連携学術講演会 長崎市 2017.2.23	DOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
島原市医師会学術講演会 島原市 2017.2.24	DOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
DS Oral Anticoagulant Forum 京都市 2017.2.25	DOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
Cardio-Coagulation座談会 東京都 2017.2.28	心房細動リスクスコアと日本人	赤尾昌治
World Kidney Day (WKD) & 脈の日 Joint Seminar 岐阜市 2017.3.9	DOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治
第81回日本循環器学会学術集会総会 金沢 2017.3.17~2017.3.19	Impact of the J-CTO score on long-term target lesion revascularization rate after native chronic total coronary occlusion angioplasty	阿部充
第81回日本循環器学会学術集会総会 金沢 2017.3.17~2017.3.19	Meet the ESC: Registries and Innovation in Research The Role of Registries in Atrial Fibrillation	Masaharu Akao
第81回日本循環器学会学術集会総会 金沢 2017.3.17~2017.3.19	Meet the Expert: 抗凝固療法: RCTからReal Worldへ Real-world studies of atrial fibrillation in Japan: Current status and future perspectives	Masaharu Akao
第81回日本循環器学会学術集会総会 金沢 2017.3.17~2017.3.19	Risk stratification for ischemic stroke in Japanese non-valvular atrial fibrillation patients: Pooled analysis of five major Japanese atrial fibrillation registries	Ken Okumura, Fumiaki Nakamura, Eitaro Kodani, Shinya Suzuki, Masaharu Akao, Kenshi Hayashi, Shun Kohsaka, Masahiko Goya, Takeshi Yamashita, Keiichi Fukuda, Mitsuaki Sobue, Kazunori Toyoda, Yoshihiro Miyamoto, Hiroaki Miyata, Tomonori Okamura, Yusuke Sasahara, Hirofumi Tomita for the J-RISK AF Research Group
第81回日本循環器学会学術集会総会 金沢 2017.3.17~2017.3.19	Efficacy and Safety of Direct Oral Anticoagulants Compared to Warfarin and Non-Anticoagulated Patients: Pooled Analysis from 5 Japanese AF Registries	Shun Kohsaka, Fumiaki Nakamura, Takehiro Kimura, Eitaro Kodani, Shinya Suzuki, Masaharu Akao, Kenshi Hayashi, Kazunori Toyoda, Yoshihiro Miyamoto, Hiroaki Miyata, Masahiko Goya, Takeshi Yamashita, Tomonori Okamura, Hirofumi Tomita, Ken Okumura for the J-RISK AF Research Group
第81回日本循環器学会学術集会総会 金沢 2017.3.17~2017.3.19	Causes of Cardiovascular and Non-cardiovascular Death in Japanese Patients with Atrial Fibrillation: The Fushimi AF Registry	Yoshimori An, Mitsuru Ishii, Moritake Iguchi, Nobutoyo Masunaga, Yuji Tezuka, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao; for the Fushimi AF Registry investigators.
第81回日本循環器学会学術集会総会 金沢 2017.3.17~2017.3.19	Paradoxical Association of Body Mass Index with Mortality in Japanese Patient with Atrial Fibrillation: The Fushimi AF Registry	Yoshimori An, Mitsuru Ishii, Moritake Iguchi, Nobutoyo Masunaga, Yuji Tezuka, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao; for the Fushimi AF Registry investigators.
第81回日本循環器学会学術集会総会 金沢 2017.3.17~2017.3.19	Clinical characteristics of Japanese patients with atrial fibrillation with mitral stenosis: The Fushimi AF Registry	Kosuke Doi, Moritake Iguchi, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao, for the Fushimi AF Registry investigators.
第81回日本循環器学会学術集会総会 金沢 2017.3.17~2017.3.19	Progression of heart failure is associated with poor prognosis in patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry	Moritake Iguchi, Yuji Tezuka, Hisashi Ogawa, Nobutoyo Masunaga, Mitsuru Ishii, Yoshimori An, Kousuke Doi, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao, for the Fushimi AF Registry investigators.
第81回日本循環器学会学術集会総会 金沢 2017.3.17~2017.3.19	Decompensated but not compensated heart failure is a risk for stroke in patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry	Moritake Iguchi, Yuji Tezuka, Hisashi Ogawa, Nobutoyo Masunaga, Mitsuru Ishii, Yoshimori An, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao, for the Fushimi AF Registry investigators.
第81回日本循環器学会学術集会総会 金沢 2017.3.17~2017.3.19	Exploration of risk factors for major bleeding in Japanese AF patients with oral anticoagulation: The Fushimi AF Registry	Mitsuru Ishii, Hisashi Ogawa, Nobutoyo Masunaga, Moritake Iguchi, Yoshimori An, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji, Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao

第81回日本循環器学会学術集会総会 金沢 2017.3.17~2017.3.19	The combination therapy with oral anticoagulant and antiplatelet drug for atrial fibrillation patients with vascular disease: The Fushimi AF Registry.	Nobutoyo Masunaga, Hisashi Ogawa, Mitsuru Ishii, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao
第81回日本循環器学会学術集会総会 金沢 2017.3.17~2017.3.19	Adverse Outcomes after Incidence of Major Bleeding in Patients with Atrial Fibrillation: The Fushimi AF Registry	Hisashi Ogawa, Kousuke Doi, Mitsuru Ishii, Nobutoyo Masunaga, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao, for the Fushimi AF Registry investigators.
第81回日本循環器学会学術集会総会 金沢 2017.3.17~2017.3.19	Clinical Outcomes in Atrial Fibrillation Patients with Bundle Branch Block: The Fushimi AF Registry	Hisashi Ogawa, Hiroaki Sugiyama, Yoshimori An, Moritake Iguchi, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao, for the Fushimi AF Registry investigators.
第81回日本循環器学会学術集会総会 金沢 2017.3.17~2017.3.19	Electrocardiographic T-wave flatness/inversion predicts adverse cardiovascular outcomes in patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry	Hiroaki Sugiyama, Hisashi Ogawa, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao, for the Fushimi AF Registry investigators.
第81回日本循環器学会学術集会総会 金沢 2017.3.17~2017.3.19	Hypokalemia was associated with higher all-cause mortality in patients with atrial fibrillation in Japan: The Fushimi AF Registry	Yuji Tezuka, Moritake Iguchi, Yoshimori An, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao, for the Fushimi AF Registry investigators.
第81回日本循環器学会学術集会総会 金沢 2017.3.17~2017.3.19	Lower sodium levels in the normal range were associated with mortality in atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry	Yuji Tezuka, Moritake Iguchi, Mitsuru Ishii, Nobutoyo Masunaga, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao, for the Fushimi AF Registry investigators.
第81回日本循環器学会学術集会総会 金沢 2017.3.17~2017.3.19	Under-dosing of Direct Oral Anticoagulants in Patients with Atrial Fibrillation in the Real-world: The Fushimi AF Registry	Yugo Yamashita, Yoshimori An, Hisashi Ogawa, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao, for the Fushimi AF Registry investigators.
第81回日本循環器学会学術集会総会 金沢 2017.3.17~2017.3.19	心房細動と高血圧の関連を再考する～抗凝固療法中の血圧管理の重要性	赤尾昌治
第398回直轄研修会 直方市 2017.3.21	地域発の登録研究の必要性和意義を考える～伏見AFレジストリから	赤尾昌治
京滋地区ANAFIE Registry神経内科ミー ティング 京都 2017.3.24	高齢者心房細動のリアルワールド～ANAFIE レジストリ開始の背景	赤尾昌治
TAMAGAWA AFカンファレンス 東京都 2017.3.31	DOAC登場から5年、抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾昌治

## □ 投稿論文など

タイトル・著書・雑誌名	著者
Is new-onset atrial fibrillation bad news for patients with heart failure? Circ J 2016.1;80(1):62-63	Moritake Iguchi, Masaharu Akao.
Clinical characteristics and outcomes in extreme elderly (age ≥85) Japanese patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry. Chest 2016.2;149(2):401-412	Yugo Yamashita, Yasuhiro Hamatani, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Gregory Y.H. Lip, Masaharu Akao.
Indications, applications, and outcomes of inferior vena cava filters for venous thromboembolism in Japanese patients. Heart Vessels 2016.7;31(7):1084-1090	Yugo Yamashita, Takashi Unoki, Daisuke Takagi, Yasuhiro Hamatani, Mitsuru Ishii, Moritake Iguchi, Hisashi Ogawa, Nobutoyo Masunaga, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
Incidence and predictors of ischemic stroke during hospitalization for congestive heart failure Heart Vessels 2016.7;31(7):1154-1161	Yasuhiro Hamatani, Moritake Iguchi, Michikazu Nakamura, Ryo Ohtani, Yugo Yamashita, Daisuke Takagi, Takashi Unoki, Mitsuru Ishii, Nobutoyo Masunaga, Hisashi Ogawa, Mio Hamatani, Mitsuru Abe, Masaharu Akao
One-year outcome of a prospective trial stopping dual antiplatelet therapy at 3 months after everolimus-eluting cobalt-chromium stent implantation: ShortT and OPTimal duration of Dual AntiPlatelet Therapy after everolimus-eluting cobalt-chromium stent (STOPDAPT) trial. Cardiovasc Interv Ther 2016.7;31(3):196-209	Natsuaki M, Morimoto T, Yamamoto E, Shiomi H, Furukawa Y, Abe M, Nakao K, Ishikawa T, Kawai K, Yunoki K, Shimizu S, Akao M, Miki S, Yamamoto M, Okada H, Hoshino K, Kadota K, Morino Y, Igarashi K, Tanabe K, Kozuma K, Kimura T
Left atrial enlargement is an independent predictor of stroke and systemic embolism in patients with non-valvular atrial fibrillation Sci Rep 2016.8;6:31042	Yasuhiro Hamatani, Hisashi Ogawa, Kensuke Takabayashi, Yugo Yamashita, Daisuke Takagi, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Gregory Y.H. Lip, Masaharu Akao
International Collaborative Partnership for the Study of Atrial Fibrillation (INTERAF): Rationale, Design, and Initial Descriptives. J Am Heart Assoc 2016.11.02;5(11):e004037	Jonathan C. Hsu, Masaharu Akao, Mitsuru Abe, Karen L. Anderson, Alvaro Avezum,Nathan Glusenkamp, Shun Kohsaka, Deirdre A. Lane, Gregory Y. H. Lip, Chang-Sheng Ma, Frederick A. Masoudi, Tatjana S. Potpara, Teo Wee Siong, Mintu P. Turakhia, Hung-Fat Tse, John S. Rumsfeld, Thomas M. Maddox.
Stroke and death in elderly patients with atrial fibrillation in Japan compared with the United Kingdom. Heart 2016.12;102(23):1878-1882	Keitaro Senoo, Yoshimori An, Hisashi Ogawa, Deirdre A Lane, Andreas Wolff, Eduard Shantsila, Masaharu Akao, and Gregory Y H Lip
Study design of J-ELD AF: A multicenter prospective cohort study to investigate the efficacy and safety of apixaban in Japanese elderly patients. J Cardiol 2016.12;(68):554-558	Masaharu Akao, Takeshi Yamashita, Ken Okumura, for the J-ELD AF Investigators
Clinical characteristics and outcomes of dialysis patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry. Heart Vessels 2016.12;31(12):2025-2034	Yugo Yamashita, Daisuke Takagi, Yasuhiro Hamatani, Moritake Iguchi, Nobutoyo Masunaga, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hitoshi Itoh, Masato Nishimura, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
血液サラサラは健康の証? Medical Practice 2016;33(4):664	赤尾昌治
日本人における心原性脳塞栓症リスクー欧米人との相違 診断と治療 2016;104(5):549-554	赤尾昌治
プライマリケア医のための抗凝固療法セミナー：超高齢者の心房細動に抗凝固療法を行うべきか? Cardio-Coagulation 2016;3(2)42-47	赤尾昌治
抗凝固薬Anticoagulants Heart View 2016;20(12):50-59	安珍守、赤尾昌治
Relation of Stroke and Major Bleeding to Creatinine Clearance in Patients With Atrial Fibrillation (From the Fushimi AF Registry). Am J Cardiol 2017.1.in press	Abe M, Ogawa H, Ishii M, Masunaga N, Esato M, Chun YH, Tsuji H, Wada H, Hasegawa K, Lip GY, Akao M
CREDO-Kyoto AMI Registry Investigators. Cardiac and Noncardiac Causes of Long-Term Mortality in ST-Segment-Elevation Acute Myocardial Infarction Patients Who Underwent Primary Percutaneous Coronary Intervention. Circ Cardiovasc Qual Outcomes 2017.1;10(1)	Yamashita Y, Shiomi H, Morimoto T, Yaku H, Furukawa Y, Nakagawa Y, Ando K, Kadota K, Abe M, Nagao K, Shizuta S, Ono K, Kimura T
これが伏見流!心房細動の診かた、全力でわかりやすく教えます。 2017.3:全編	赤尾昌治
Ethnic differences in patients with atrial fibrillation and prior stroke: The Fushimi and Darlington AF Registries eBioMedicine 2017 in press	Hisashi Ogawa, Keitaro Senoo, Yoshimori An, Alena Shantsila, Eduard Shantsila, Deirdre A Lane, Andreas Wolff, Masaharu Akao, Gregory Y H Lip.
Current status and outcomes of direct oral anticoagulant use in patients with atrial fibrillation in the real-world: The Fushimi AF Registry Circ J 2017 in press	Yugo Yamashita, Ryuji Uozumi, Yasuhiro Hamatani, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Satoshi Morita, Masaharu Akao

ワルファリン、DOAC ここが知りたい-循環器の薬と使い方 2017:180-189	赤尾昌治
From the World Conference「ESC(欧州心臓学会)2016」 Cardio-Coagulation 2017;2(3):59-61	赤尾 昌治
アピキサバン Circulation Up-to-Date「超実践的!抗凝固薬の使いかた」 2017:40-47	赤尾 昌治
心不全のキードラッグを使いこなす!「抗凝固薬」 月刊薬事 2017;59(4):47-51	井口守丈、赤尾昌治